

# 石油小形給湯機 高圧力型石油小形給湯機

## 取扱説明書（保証書付）

### ●石油小形給湯機

製品名

OX-407YV	OX-307YV
OX-407YSV	OX-307YSV
OX-407Y	OX-307Y
OX-407YS	OX-307YS
OX-407FV	OX-307FV
OX-407F	OX-307F
OX-407FF	OX-307FF
OX-408YSV	OX-308YSV
OX-408YS	OX-308YS
OX-408YSO-2	OX-308YSO-2
OX-408F	OX-3704YSO
OX-4704YSO	

### ●高圧力型石油小形給湯機

製品名

OX-H407YSV
OX-H407FV
OX-H408YV
OX-H408YSV

## まずはじめに

この取扱説明書の見かた	2
製品名の確認のしかた	2
特に注意していただきたいこと	3

## ご使用前に

使用前の準備	7
各部のなまえとはたらき(機器本体)	9
各部のなまえとはたらき(リモコン)	11
リモコン(本体操作部)	11
リモコン操作音の 消しかた(鳴らしかた)	11

## お湯・シャワー

お湯を出す	12
お湯の温度を調節する	13

## 必要なとき

凍結による破損を予防する	14
長期間使用しないとき (水抜きのみ)	16
日常の点検・お手入れのしかた	17
法定点検について	19
定期点検(有料)	20
部品交換のしかた	20

## 困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	21
リモコンに英数字が点滅しているとき <故障表示>	23

## ご参考

主な仕様	25
アフターサービスについて	27
据え付け	27

## 無料修理保証書

裏表紙



# この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

## 文中の(P○)の数字は参照ページを表します

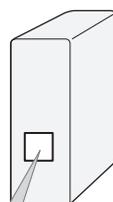
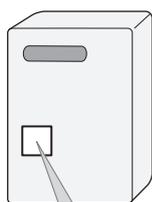
## 説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

# 製品名の確認のしかた

【屋外設置形の場合】

【屋内設置形の場合】



製品名は機器に貼り付けてある銘板で確認できます

○○○○○○○○

製品名はここです

規格名称 JIS S 3024  
石油小形給湯機  
燃焼方式 圧力噴霧式  
給排気方式 ……

# 特に注意していただきたいこと

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

 <b>警告 (WARNING)</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意 (CAUTION)</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い (NOTICE)</b>	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

## 警告 (WARNING)

### ガソリン厳禁

灯油 (JIS 1 号灯油) を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



ガソリン厳禁

### 【屋内用強制給排気形の場合】 給排気筒トップの閉塞危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。

ふさがれているときは、除雪してください。閉塞していると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

### 【屋内用強制排気形の場合】 排気筒トップの閉塞危険

排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉塞していると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

### お客さまご自身では絶対に分解したり、 修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体・(給)排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

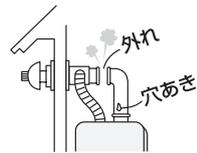
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。



禁止

### 【屋内用強制給排気形の場合】 給排気筒外れ危険

給排気筒(管・ホース)を、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

### 【屋内用強制排気形の場合】 排気筒外れ危険

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

## 注意 (CAUTION)

### 異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社窓口へ連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



必ず守る

油漏れやにおい、ススの発生、炎の色、故障表示を繰り返すなど、異常や故障と思われるときは使用しない

思わぬ事故の原因になります。「故障・異常かな?」と思ったら「リモコンに英数字が点滅しているとき<故障表示>」に従って処置してください。



禁止

### 【製品名の最後に“V”がつく製品の場合】 太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



禁止

### 【製品名の最後に“V”がつかない製品の場合】 太陽熱温水器との接続時の注意

- 太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性がありますので、注意して使用してください。
- 機器を燃焼させずに太陽熱温水器のお湯をそのまま使いたい場合は、運転スイッチを「入」にし、給湯温度を「1」に設定して使用してください。



必ず守る

# 特に注意していただきたいこと(つづき)

(つづき)

## ⚠️注意(CAUTION)

給湯温度を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意する



高温注意

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

給湯温度「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴するやけど予防のため。

給湯温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があります

高温から低温に給湯温度を下げた場合、高温のお湯が貯湯槽に残っているため、しばらくは高温のお湯が出るので、注意してください。



ゴム製送油管を屋外で使用しない  
油漏れにより、火災の原因になります。



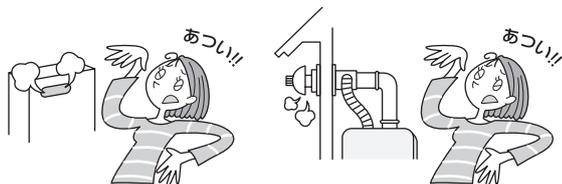
禁止

### 高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口・(給)排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどの原因になります。



接触禁止



シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない  
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



禁止

電源プラグはぬれた手でさわらない  
感電の原因になります。



ぬれ手禁止



感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む  
差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグのホコリは定期的に取り  
ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る

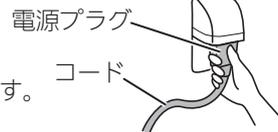
電源コード、電源プラグの破損・加工をしない  
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。  
感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ず守る

排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

【排気方向を上方へ変更するカバーを付けている場合】

カバーに雪が積もっていたら、除雪する

雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



必ず守る

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない

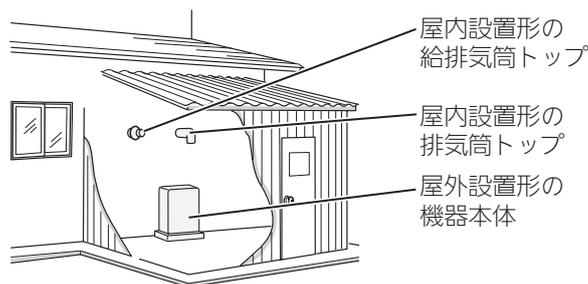
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。



禁止

増改築などで屋内状態にしない  
(波板囲いなどをしない)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



禁止

ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりで使用しない

火災の原因になります。



禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



禁止

### リモコンには磁石を使用しています

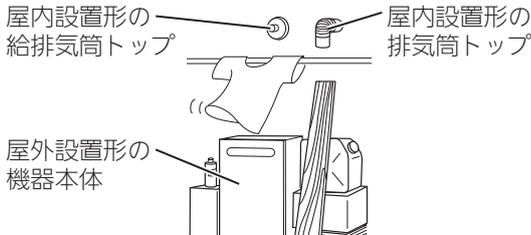
磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

燃えやすい物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



禁止

火災の原因になります。



機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、**運転スイッチを「切」にする**



必ず守る

やけど予防のため。

運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

子供を浴室内で遊ばせない  
子供だけで入浴させない



禁止

思わぬ事故の原因になります。

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる



必ず守る

油漏れにより、火災の原因になります。

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する



必ず守る

不完全燃焼の原因になります。

【屋内用強制排気形の場合】

建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する



必ず守る

不完全燃焼の原因になります。



この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です



他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。必ず守る

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない



禁止

思わぬ事故を予防するため。

子供を機器の周囲で遊ばせない



禁止

思わぬ事故の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(P14)

火災や予想しない事故の原因になります。

## お願い(NOTICE)

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)



電源プラグを抜く

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)



ぬれ手禁止

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



感電注意

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

停電すると、運転が停止します

OX-408YSO-2,308YSO-2,4704YSO,3704YSOの場合、運転スイッチ「入」の状態です。停電復帰時も運転スイッチ「入」のままです。ご注意ください。

【OX-Hシリーズ以外の場合】

温泉水を使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合は保証期間内でも有料修理になります。

【OX-Hシリーズ以外の場合】

井戸水・地下水を使用時の注意

井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合の修理は、保証期間内でも有料になります。

【OX-Hシリーズの場合】

温泉水、井戸水、地下水を使用しない

この機器は上水道用です。給水には上水道を使用してください。

(つづく)

特に注意していただきたいこと

(つづき)

## お願い(NOTICE)

### 浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。  
こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

### リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

### リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

### リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変形・変色・傷・割れなどの原因になります。

### リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。  
故障の原因になります。

### リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

### 運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチが「切」の状態であることを確認してください。  
【OX-408YSV,408YS,408F,308YSV,308YS,H408YV,H408YSVの場合】  
凍結予防(P14)中は、運転スイッチを「入」にしておいてください。

### 機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

### 断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

### 断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

### 断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

### 凍結による破損を予防する(P14～16)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。  
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

### 長期間使用しない場合、必要な処置をする(P16)

凍結および万が一の油漏れを防止するため。

### 積雪時には給気口・排気口・(給)排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口・排気口・(給)排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

### 機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

### スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

### 灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光を避けた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

### 排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

### 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。  
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社窓口に確認してください)

### 運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。  
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。  
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

### 業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

### この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

# 使用前の準備

- 初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

<b>警告</b>	<b>(給)排気筒外れ危険</b> (給)排気筒は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。 穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。
<b>注意</b>	<b>排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない</b> 異常燃焼や火災の原因になります。
<b>注意</b>	<b>燃えやすい物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)</b> 火災の原因になります。
<b>注意</b>	<b>オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる</b> 油漏れにより、火災の原因になります。

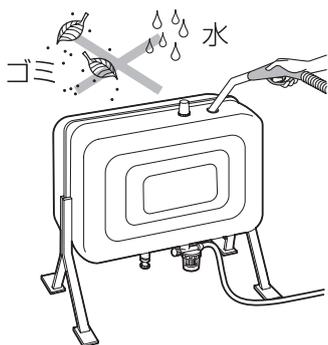
## 燃料

<b>警告</b>	<b>ガソリン厳禁</b> 灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。 火災の原因になります。
<b>注意</b>	<b>不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない</b> 変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

## 給油

### ● 給油の際の注意

- 必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふきとってください。



### ● 空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかつたり、故障表示「11」「12」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 運転スイッチを「入」にする。
3. 給湯栓(お湯側)を開けて、お湯を出す。

手順2~3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

炎マークが点灯し、お湯になれば正常です

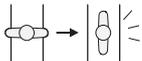
【故障表示「11」「12」が出る場合】  
 いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

5~6回繰り返しても、故障表示が出て着火しないときは、機器の不具合の可能性もあるため、販売店に連絡してください。

# 使用前の準備(つづき)

## 運転開始前の準備と確認

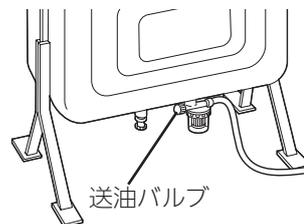
①すべてのエアチャージ栓、排水栓、逃し弁が閉まっていることを確認する(エアチャージ栓などの位置→P9)

②給水元栓を全開にする 

③給湯栓を開けて連続して水が出ることを確認し、再度閉める  
断続的に出る場合は、連続して出るまで水を出しっぱなしにする  
※水が出ることを確認せず運転スイッチを「入」にすると、貯湯槽が空だきの状態になる場合があります、故障の原因になります。



④オイルタンクの送油バルブを全開にし、オイルタンクや送油管接合部などから油漏れがないか、確認する



⑤電源プラグを電源コンセントに差し込む **ぬれた手でさわらない**  
対震自動消火装置が自動的にセットされます。



### 【OX-408YSO-2,308YSO-2の場合】

電源プラグを電源コンセントに差し込み、運転スイッチ「入」にして、リモコンに「10」が点滅しないことを確認する  
※リモコンに「10」が点滅する場合は、下記の方法で対震自動消火装置をセットする

### お知らせ

●初めてご使用になるときなどは、送油経路に空気が入って点火せず、リモコンに「11」「12」が点滅することがあります。この場合は運転スイッチを「切」にし、3秒以上たってから再び運転スイッチを「入」にしてください。

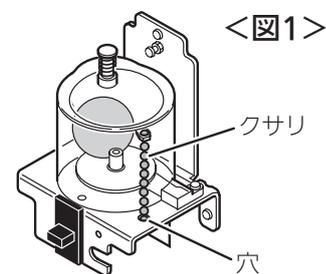
## ●【OX-408YSO-2,308YSO-2の場合】対震自動消火装置のセットのしかた

①電源プラグを電源コンセントから抜く

②フロントカバーを開ける(対震自動消火装置は右下についています)

③対震自動消火装置のクサリが、穴の中を通っていること、また、穴の中心付近になっていることを確認する<図1>

※中心付近になっていない場合は、機器が傾いている可能性があります。  
販売店または弊社窓口にご連絡ください。



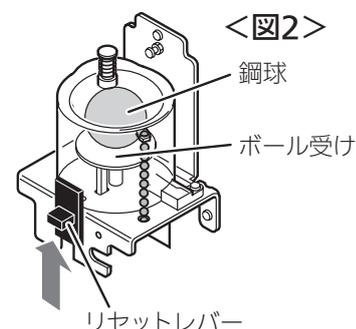
④リセットレバーを静かに上に押し上げ、鋼球をボール受けにセットする  
<図2>

⑤機器に衝撃を与えないよう、静かにフロントカバーを閉める

※フロントカバーをリセットレバーにひっかけないように注意して閉めてください。

⑥電源プラグを電源コンセントに差し込む

⑦運転スイッチ「切」にし、再度「入」にして「10」が点滅しないことを確認する  
セットが完了しました。

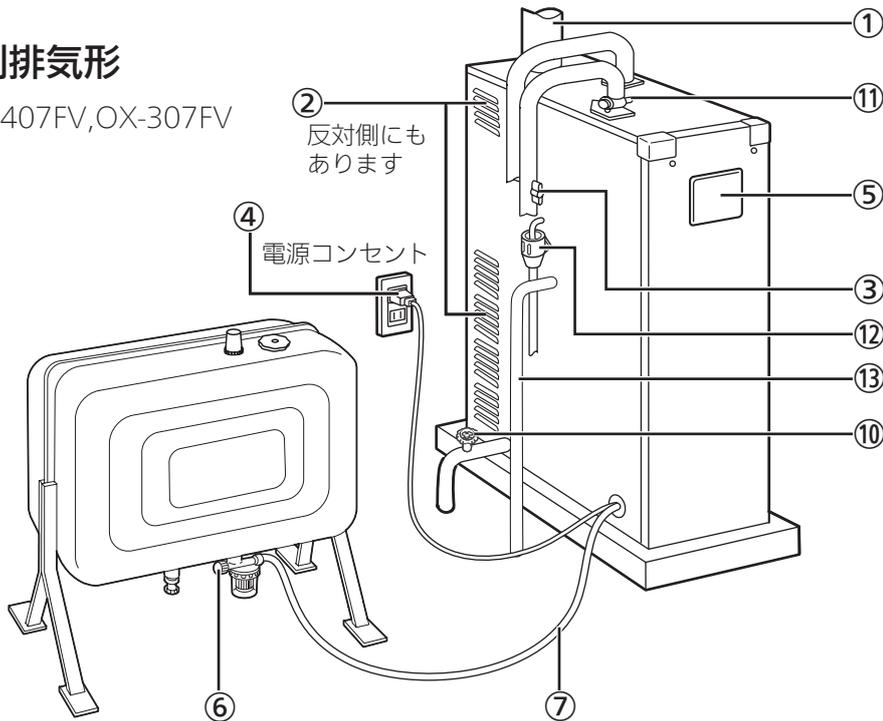


# 各部のなまえとはたらき(機器本体)

- イラストは施工例です。配管の有無・形状、オイルタンク・電源コンセントの位置・形状など実際と異なります。
- オイルストレーナーは機器内にあります。

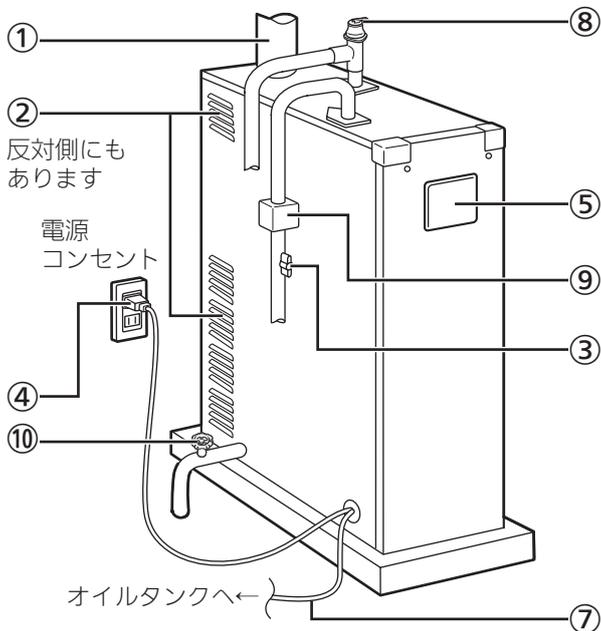
## ●屋内用強制排気形

OX-407FV, OX-H407FV, OX-307FV



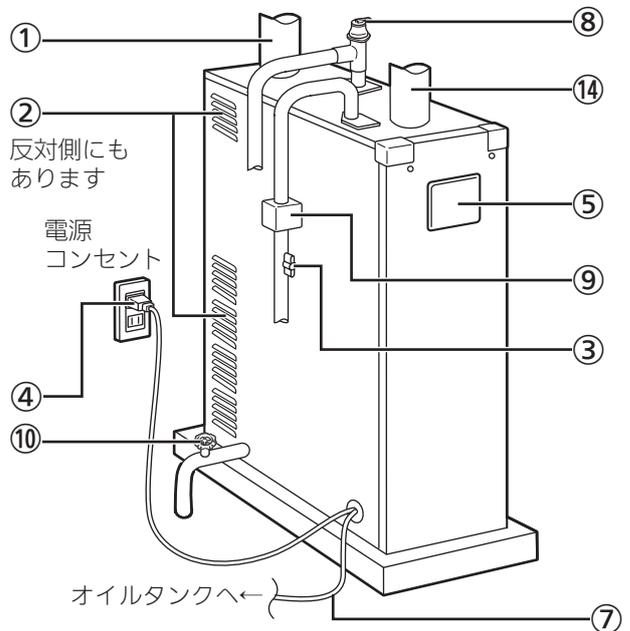
## ●屋内用強制排気形

OX-407F, OX-408F, OX-307F



## ●屋内用強制給排気形

OX-407FF, OX-307FF



① 排気筒

燃焼した排気ガスを出します。

② 給気口

⑭ 給気筒

燃焼用の空気を吸い込みます。

③ 給水元栓

④ 電源プラグ

⑤ 本体操作部

- ・機器に組み付けられている場合があります。
- ・この取扱説明書では「リモコン」として説明しています。

⑥ 送油バルブ

⑦ 送油管

⑧ 逃し弁

⑨ 減圧弁

⑩ 排水栓

⑪ エアーチャージ栓(フィルター付)

⑫ ホッパー

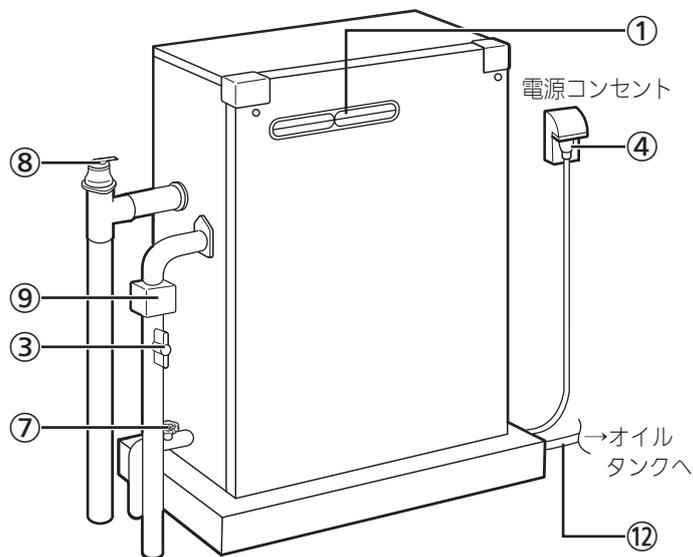
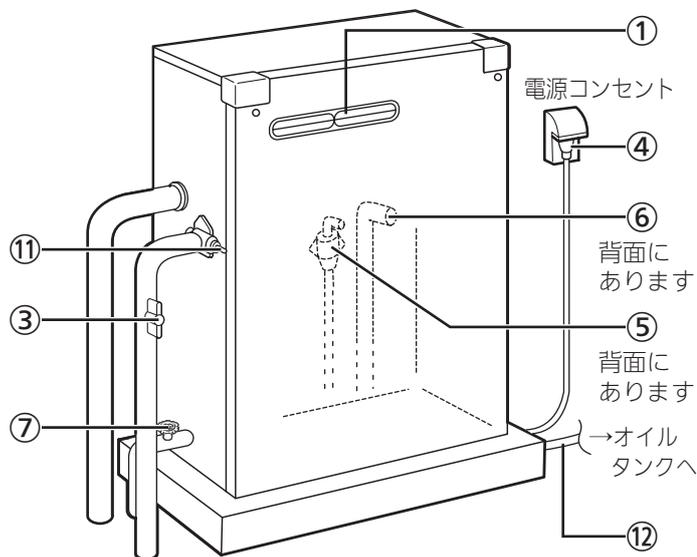
⑬ 同圧給水配管

# 各部のなまえとはたらき(機器本体)(つづき)

## ●屋外用開放形

OX-407YV,OX-407YSV,OX-H407YSV,OX-307YV,OX-307YSV

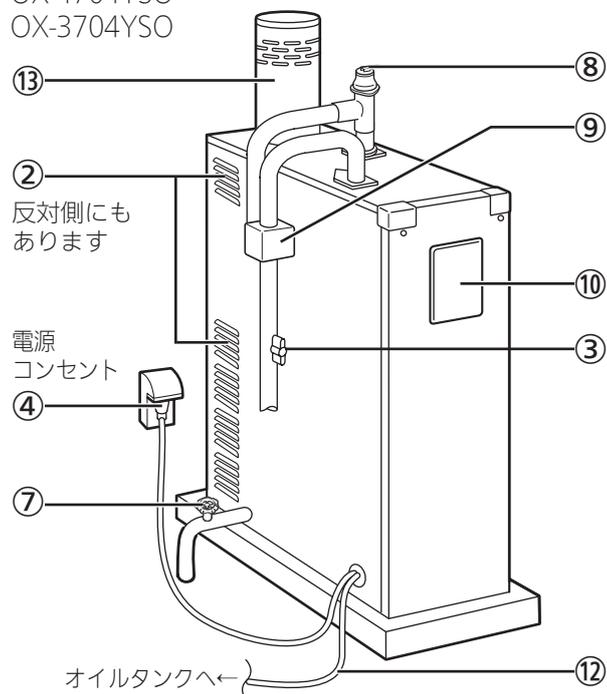
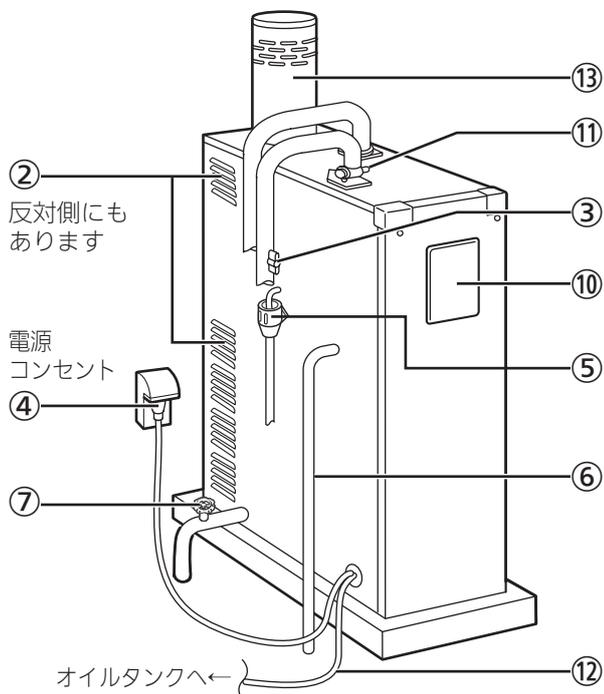
OX-407Y,OX-407YS,OX-307Y,OX-307YS



## ●屋外用開放形／屋外用強制排気形

OX-408YSV,OX-H408YV,OX-H408YSV,OX-308YSV

OX-408YS,OX-408YSO-2,OX-308YS,OX-308YSO-2  
OX-4704YSO  
OX-3704YSO



- ① 排気口
- ⑬ 排気筒トップ  
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口  
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ③ 給水元栓
- ④ 電源プラグ

- ⑤ ホッパー
- ⑥ 同圧給水配管
- ⑦ 排水栓
- ⑧ 逃し弁
- ⑨ 減圧弁

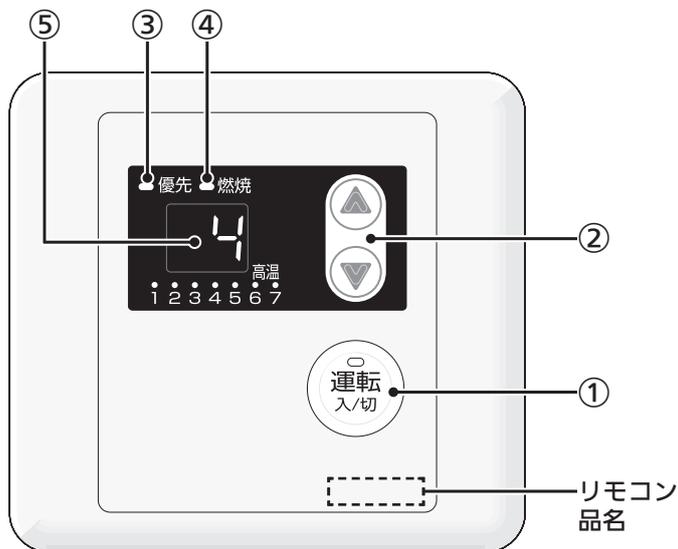
- ⑩ 本体操作部  
・機器に組み付けられている場合があります。  
・この取扱説明書では「リモコン」として説明しています。
- ⑪ エアーチャージ栓(フィルター付)
- ⑫ 送油管

# 各部のなまえとはたらき(リモコン)

## リモコン(本体操作部)

●リモコン品名：RC-7616M, RC-7615M

- 本取扱説明書では、本体操作部もリモコンとして説明しています。
- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって、異なる表示をします。
- スイッチを押すと操作音が鳴り、給湯温度を「6」「7」の高温に設定すると「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



① 運転スイッチ・ランプ  
運転の「入」「切」に。

② 設定スイッチ  
お湯の温度の設定に。(P13)

③ 優先ランプ  
運転スイッチを「入」にすると点灯。

④ 燃焼ランプ  
燃焼中に点灯。

⑤ 給湯温度表示  
設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合は、「H」を表示し「ピピッ」と鳴ってお知らせします。(P13)

(表示例)

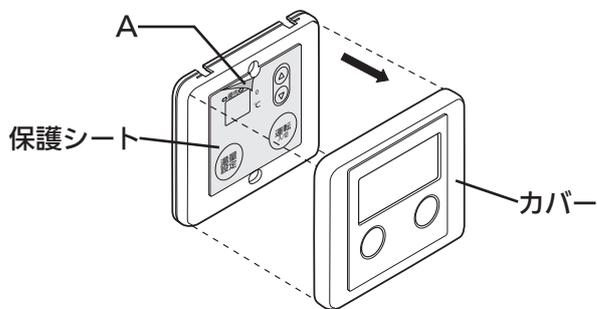


故障表示  
不具合が生じたときに表示。(P23)

### リモコン表面の保護シートは取り外せます

保護シートを外す場合は、下記の手順でおこなってください。  
(保護シートは外してある場合もあります)

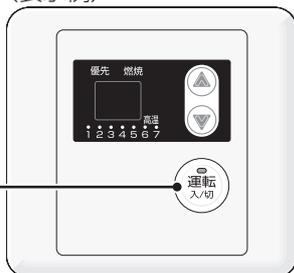
- ①カバーを外す。
- ②リモコンのプレート表面の保護シートを右図A部分よりはがして取り外す。
- ③カバーを元どおり取り付け。



## リモコン操作音の消しかた(鳴らしかた)

- ①運転スイッチを「切」にする。
- ②運転スイッチを長押し(約5秒間)する。

(表示例)



### 》しくみ

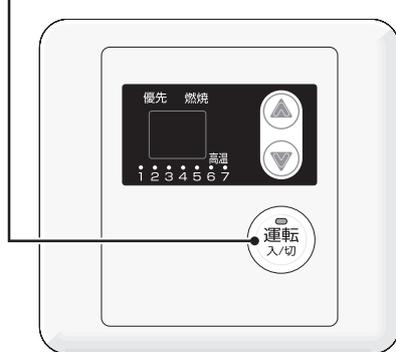
- 「リモコン操作音を鳴らす」設定にすると「ピッ」と鳴ります。
- 「リモコン操作音を消す」設定にした場合は、変更できても音は鳴りません。
- リモコン操作音の設定後は、運転スイッチ「入」になります。

- 「H」を表示したときや、給湯温度を「6」「7」の高温に設定した場合のお知らせ音(P13)は、操作音を消しても鳴ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあとは、設定が初期設定(工場出荷時)に戻りますので、設定しなおしてください。

## お湯を出す

## 手順

## 1 運転スイッチを「入」にし、給湯温度を確認する



表示例



## 》しくみ

- 運転ランプ、優先ランプ点灯。

## 2 給湯栓を開ける または シャワーを出す

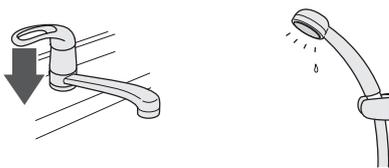


## 》しくみ

- お湯の使用量や水を混ぜる量などにより、お湯の温度が上がったり下がったりすることがあります。

## ■ お湯を止めたいとき

## 給湯栓を閉める または シャワーを止める

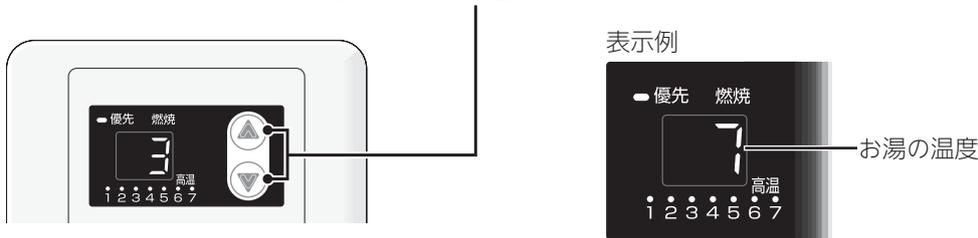


⚠注意	 シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する 給湯温度「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけど予防のため。
⚠注意	 浴槽の湯温を手で確認してから入浴する やけど予防のため。
⚠注意	 給湯温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があります 高温から低温に給湯温度を下げた場合、高温のお湯が貯湯槽に残っているため、しばらくは高温のお湯が出るので、注意してください。
⚠注意	 シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない 高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

# お湯の温度を調節する

## 手順

### 1 運転スイッチ「入」の状態、設定スイッチで調節する



### お湯の温度の目安

表示	1	2	3	4	5	6	7
目安温度	ぬるい (約25℃)		あつい (約80℃)				

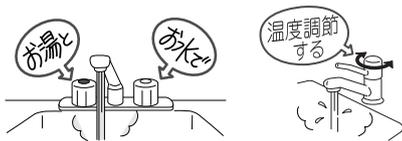
- 初期設定(工場出荷時)は「3」です。
- 「1」に設定すると、水温によっては燃焼しない場合があります。
- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

高温「6」「7」設定時の表示(例:7)



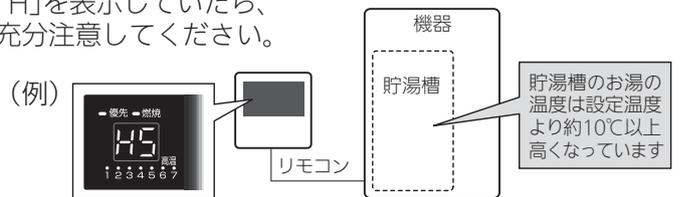
### 快適に使用していただくため

通常「7」に設定して、お湯と水を混ぜて温度調節して使用することをおすすめします。



### 「H」を表示するときは

「H」を表示し「ピピッ」と鳴るのは、貯湯槽のお湯の温度が設定した給湯温度より10℃以上高いことをお知らせしています。給湯使用時に「H」を表示していたら、お湯の温度に充分注意してください。



### 給湯量と給湯温度の早見表 ※( )内は湯、水を混合した値です

<OX-(H)407,408シリーズ,OX-4704YSO>

給湯温度 \ 水温	給湯量 L/分		
	8℃ 〈冬期〉	18℃ 〈春・秋期〉	28℃ 〈夏期〉
40℃	約20.0	※(約29.5)	※(約54.0)
50℃	約15.5	約20.0	※(約29.5)
60℃	約12.5	約15.5	約20.0
80℃	約9.0	約10.5	約12.5

<OX-307,308シリーズ,OX-3704YSO>

給湯温度 \ 水温	給湯量 L/分		
	8℃ 〈冬期〉	18℃ 〈春・秋期〉	28℃ 〈夏期〉
40℃	約17.0	※(約24.5)	※(約45.0)
50℃	約13.0	約17.0	※(約24.5)
60℃	約10.5	約13.0	約17.0
80℃	約7.5	約8.5	約10.5

● ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

### お知らせ

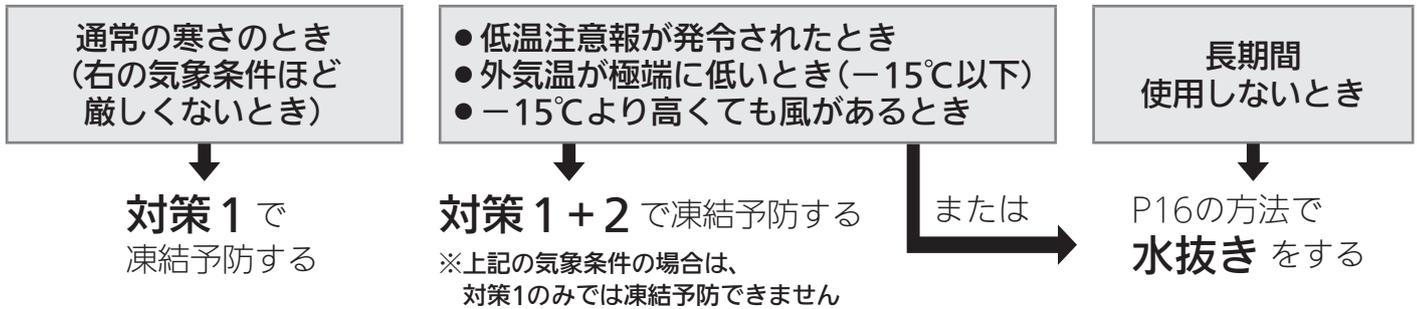
- 燃焼ランプが点灯したり消灯したりして燃焼をくりかえすのは、貯湯槽のお湯を設定した給湯温度に保つよう貯湯槽のお湯の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止するためです。
- 貯湯槽のお湯が十分に温まっていない場合、運転スイッチを入れてすぐに給湯栓を開けても、設定温度のお湯にならないことがあります。そのときは給湯栓をいったん閉めてしばらく待った後、使用してください。それでもお湯にならない場合は、灯油がなくなっていないか確認してください。



お湯を出す／お湯の温度を調節する

# 凍結による破損を予防する

<b>お願い</b>	凍結による破損を予防する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な対策をしてください。</li> <li>● 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。</li> </ul>
------------	--------------	---



## 対策1 凍結予防ヒーターにより自動的に凍結予防 (運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します)

【OX-407YV,407YSV,407Y,407YS,407FV,407F,407FF,307YV,307YSV,307Y,307YS,307FV,307F,307FF,H407YSV,H407FVの場合】

- 電源プラグを抜かない(電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします)  
給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

【OX-408YSV,408YS,408F,308YSV,308YS,H408YV,H408YSVの場合】

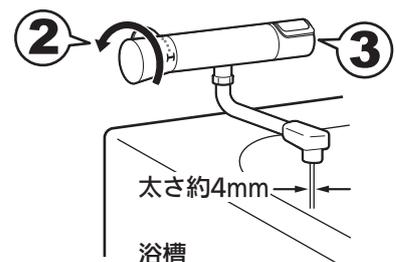
- 電源プラグを抜かない(電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします)  
給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)
- 貯湯槽には凍結予防ヒーターがついていないため、次の手順もおこなう
  - ① 給湯栓を閉める。
  - ② リモコンの運転スイッチを「入」にする。
  - ③ 給湯温度設定を「1」にする。

【OX-408YSO-2,308YSO-2,4704YSO,3704YSOの場合】

- 温暖地専用品のため、凍結予防ヒーターはついていません。凍結のおそれがある場合は対策2をおこなう。

## 対策2 通水による凍結予防

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする
- ③ お風呂の給湯栓を開き、少量の水を流したままにする  
(少量の水とは・・・1分間に約400mL、太さ約4mm)
- ④ 約30分後、流れる量を確認する



- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でご湯栓から水を出さないようお願いしていますが(P6)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P16の方法で水抜きをおこなってください。

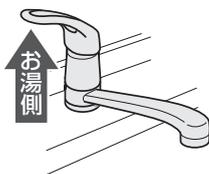
## 凍結してお湯(水)が出ないとき

### ● 運転スイッチを「切」にする

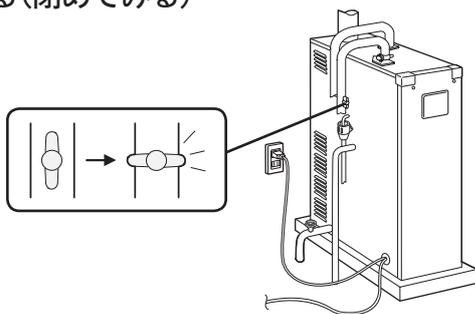
- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

### ● すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② 台所などの給湯栓を少し開けておく



- ③ 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



(例：OX-407FV)

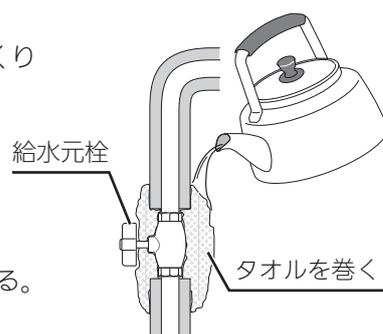
### ■ 給水元栓が凍結して回らない場合

- ① タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- ② 人肌程度(30℃～40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(必要に応じて床面などがぬれないように処置をする)

**注意**

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。

- ③ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- ④ タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- ⑤ 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



### ■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

### お知らせ

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

# 長期間使用しないとき(水抜きのみ)

## ⚠️注意



機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にする

やけど予防のため。運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

## 準備

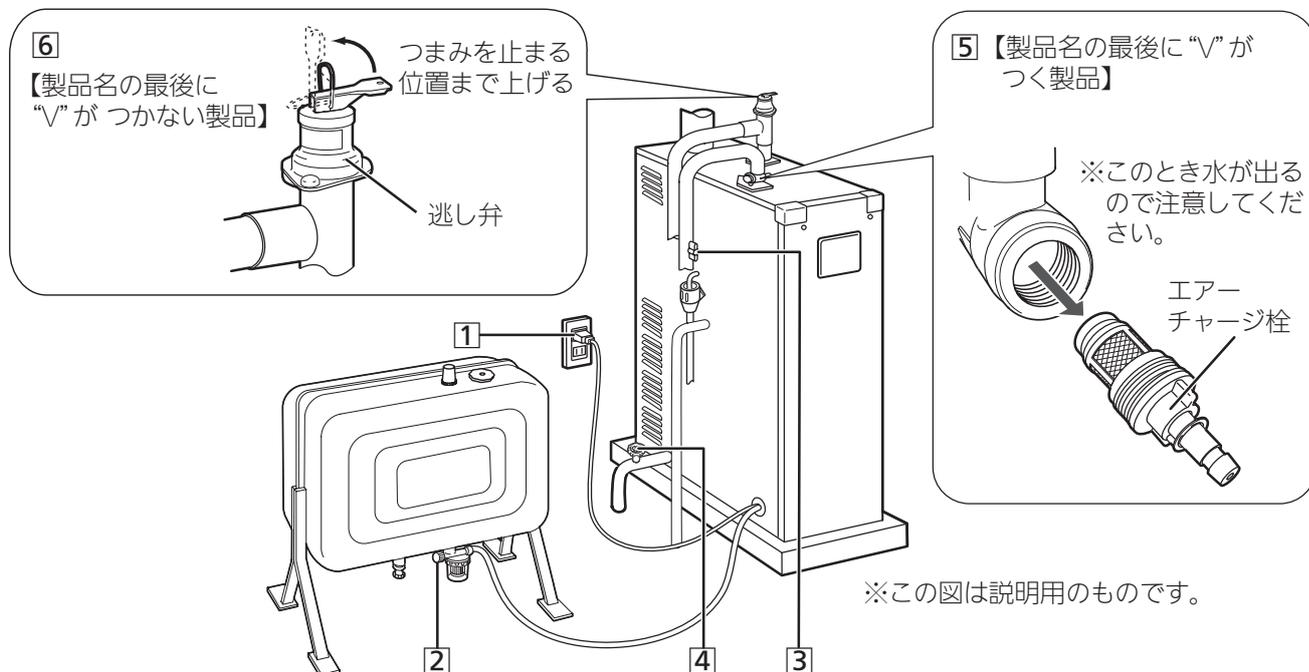
エアーチャージ栓などからお湯(水)が約14L出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

## 手順

- ①運転スイッチを「切」にする
- ②機器の電源プラグ①を抜く **ぬれた手でさわらない**
- ③オイルタンクの送油バルブ②と給水元栓③を閉める
- ④排水栓④を開ける
- ⑤すべての給湯栓を開ける
- ⑥製品名の最後に“V”がつく製品は、エアーチャージ栓(フィルター付き)⑤を外す  
製品名の最後に“V”がつかない製品は、逃し弁⑥を開ける
- ⑦すべて排水されたことを確認したあと、排水栓、エアーチャージ栓(または逃し弁)、すべての給湯栓を閉める



各製品のエアーチャージ栓・逃し弁の位置は、P9～10「各部のなまえとはたらき」を参照してください



## 水抜き後の再使用のとき

P8の「運転開始前の準備と確認」に従って、使用してください。

# 日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。

<b>⚠注意</b>	<b>!</b> 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にする やけど予防のため。運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、気をつけて作業してください。
------------	---

★の処置：販売店または、弊社窓口にご連絡する。

## 点検

排気口・給気口・(給)排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？ →**Ⓐ**  
 ふさがっている場合は、掃除する。

## 点検

機器外装に異常な変色はないか？ →**Ⓑ**  
 現象があった場合：★

## 点検

運転中に機器から異常音が聞こえないか？ →**Ⓑ**  
 現象があった場合：  
 「故障・異常かな？と思ったら」のP22を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または、弊社窓口にご連絡する。

## 点検

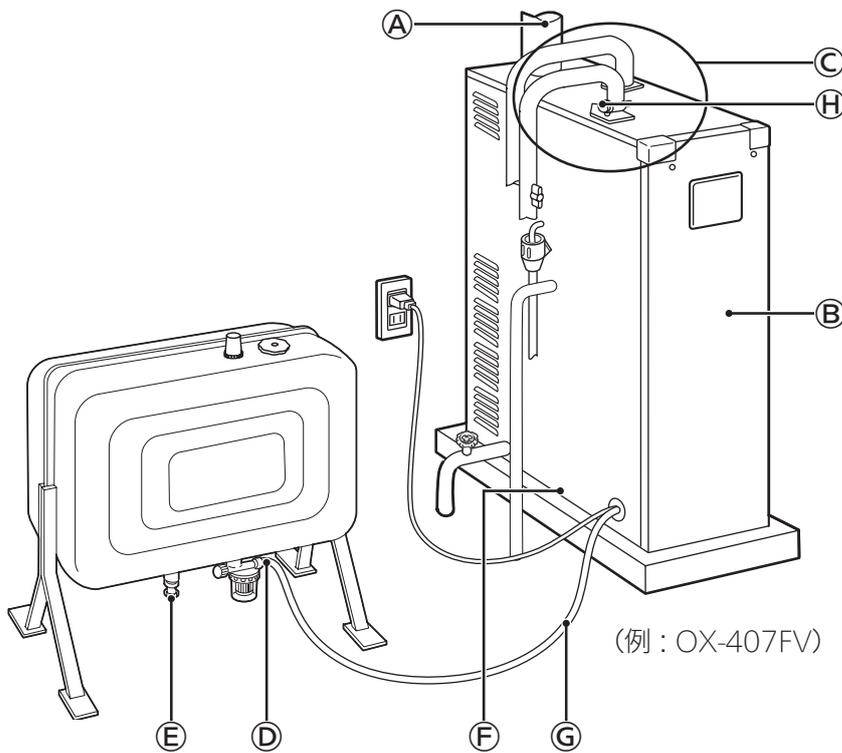
【屋内設置形の場合】排気筒や給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、または穴があいていないか？ →**Ⓐ**  
 現象があった場合：★

## 点検

機器・配管から水漏れはないか？ →**Ⓒ**  
 水漏れがあった場合：  
 給水元栓を閉め、運転スイッチを「切」にし、販売店または、弊社窓口にご連絡する。

## 点検

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れはないか？ →**Ⓓ**  
 油漏れがあった場合：  
 運転スイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社窓口にご連絡する。



## 点検

オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れはないか？ →**Ⓓ**

### 【油漏れがあった場合】

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
  - ②ドレン抜きバルブを開け、約10～20mL排水する。
  - ③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じっていないければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)
- ※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

## 点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →**Ⓔ**

現象があった場合：★

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

長期間使用しないとき(水抜き)のしかた／日常の点検・お手入れのしかた

(つづき)

## 点検

**【屋内設置形の場合】**ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないか？→㉔  
(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する)

**【ひび割れや亀裂があった場合】**販売店または、弊社窓口に交換を依頼する。(ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください)

## 点検

機器や排気口・(給)排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

## お手入れ 外装の汚れ →㉕

ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。  
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

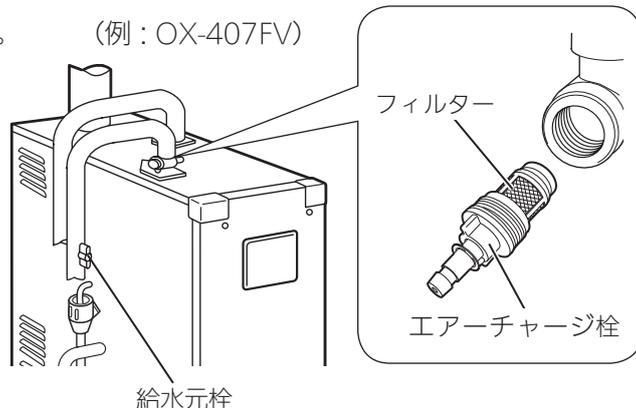
## お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

## お手入れ 【製品名の最後に”V”がつく製品の場合】エアークージ栓のフィルター →㉖

エアークージ栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

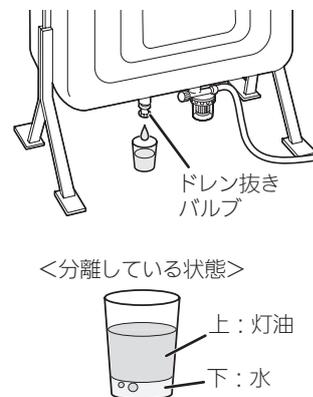
- ①エアークージ栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓を閉める。
- ③台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を開ける。
- ④エアークージ栓を左に回して開け、フィルターを引き出す。  
※このとき水(お湯)が出るので注意してください。
- ⑤フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。
- ⑥元どりにエアークージ栓を取り付ける。
- ⑦すべての給湯栓を閉める。
- ⑧給水元栓を開け、エアークージ栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



## お手入れ オイルタンク →㉗

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。
- ②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。
- ③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。  
※分離していなければ、水は混ざっていません。
- ④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。  
出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。



## お手入れ オイルストレーナー

オイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。

※オイルストレーナーは機器内にあるため、お客さまではできません。定期的に販売店に点検を依頼してください。

**お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。**

## ● 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

## ● 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

## ● 法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

## ● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。引越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
- ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

## ● 法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

### 【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

#### <設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期・・・製造年月
- 2) 終期・・・JIS S 2071の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

#### ■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

#### <ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、弊社窓口にご連絡ください。

(つづく)

# 法定点検について(つづき)

(つづき)

## ● 点検について

法定点検は、ノーリツまたはノーリツが委託した事業者がおこないます。

### 【点検お知らせ機能搭載について】

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(P23)

### 【点検の内容について】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

### 【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.noritz.co.jp/product/aftersupport/hosyu.html>  
インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口にご連絡ください。

### 【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年  
点火プラグ・イグナイター・フォトトランジスター
- (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年  
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年  
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・オイルセンサー

※補修用性能部品の保有期間はP27をご覧ください。

### 【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】

P17～18に従って、おこなってください。

### 【任意の定期点検について】

P20をご覧ください。

# 定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。

機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

点検は販売店または、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

# 部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

不良灯油(変質灯油・不純灯油)・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	減圧弁、安全弁

# 故障・異常かな？と思ったら

お湯・シャワー		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
	【製品名の最後に”V”がつく製品の場合】 エアチャージ栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	P18
	凍結している。	P15
	運転スイッチが「切」になっている。	運転スイッチを「入」に。
	送油経路に空気が残っている。	空気抜きをする。(P7)
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	運転スイッチを入れてすぐに給湯栓を開けても、貯湯槽のお湯が十分に温まっていない場合、設定温度のお湯にならないことがあります。	給湯栓をいったん閉めてしばらく待った後、使用する。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P13
	給湯温度を下げても、貯湯槽に高温のお湯が残っていると、しばらくは高温のお湯が出ます。	異常ではありません。
高温のお湯が出ない	オイルタンクの送油バルブが全開になっていない。	送油バルブを全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P13
	お湯を出しすぎると、しくみ上、お湯の温度が下がることがあります。	給湯栓をもっと絞ってお湯の量を減らすと、お湯の温度は安定します。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。	異常ではありません。 他の場所での使用をやめると、元に戻ります。
	水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。

(つづく)

法定点検について／定期点検(有料)／部品交換のしかた

故障・異常かな？と思ったら

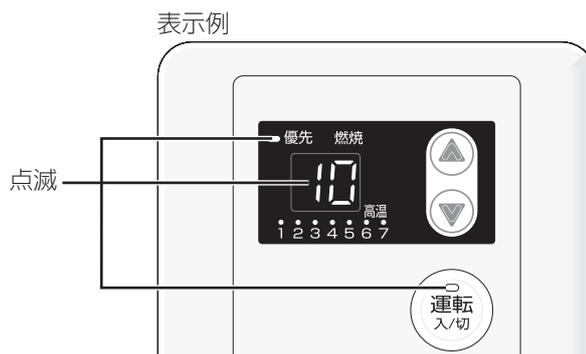
(つづき)

リモコンに関すること		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点灯しない	停電している。	復旧を待つ。
	電源プラグが抜けている。	電源プラグの確認を。
リモコンの燃焼ランプが点灯したり、消灯したりする	貯湯槽のお湯の温度を一定に保つために、機器が燃焼したりしなかったりするためです。	異常ではありません。
お湯を使っていないのに燃焼する	【OX-408YSV,408YS,408F,308YSV,308YS,H408YV,H408YSVの場合】 凍結予防をしている。	異常ではありません。
給湯温度表示の前に「H」を表示する	設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合に、「H」を表示します。	(P13)
「ピピッ」と音が鳴る	上記の「H」を表示したとき、および給湯温度を「6」「7」の高温に設定したときに「ピピッ」と鳴ります。	(P13)
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。	気になる場合は保護シートをはがす。(P11)

機器全般		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
寒い日に排気口・(給)排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
機器の逃し弁から水漏れしている	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、逃し弁からお湯が出ることがあります。(製品名の最後に「V」がつく製品の場合は、ホッパーからお湯が出ます)	異常ではありません。
運転中に停止した	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
運転を停止しても、しばらくの間、ファンの回転音(ブーン)がする	再使用時の点火をより早くするために、機器が作動している音です。	異常ではありません。しばらくの間は回転します。
運転中にときどき「カチッ」という音がする	しくみ上、音が出ます。	異常ではありません。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。	こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

# リモコンに英数字が点滅しているとき <故障表示>

- 不具合が生じたとき、その原因を故障表示と運転スイッチのランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。



## 以下の場合、故障ではありません

表示	原因
温度表示の前に「H」を表示する (例) <b>H3</b>	設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合に、「H」を表示します。

## お客さまで対処できるもの

故障表示	原因	処置
10	対震自動消火装置の作動	地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから下記の操作をしてください。 【OX-408YSO-2,308YSO-2以外の場合】 運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 【OX-408YSO-2,308YSO-2の場合】 P8の方法で、対震自動消火装置をセットしなおす。
11 12	●燃焼制御装置の非検知 ●灯油切れの可能性があります ●送油経路に空気が入っている可能性があります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。 ③②の操作後、さらに表示が出る場合は空気抜きをしてください。(P7)
17	【OX-H407YSV,H407FV, H408YV,H408YSVの場合】 空だき防止装置の動作(機器内に水が入っていない可能性があります)	①給水元栓が開いていることを確認する。 ②給湯栓を開けて水を出す。 ③運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
LL	【別売品の給油検知装置を設置している場合】 オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。 残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、給油検知装置の調整をしてください。(P24)

## 以下の場合、販売店または弊社窓口にご連絡ください

故障表示	原因
88	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいてお知らせ 【故障ではありません】 使用はできますが、安全のため点検(有料)を依頼してください。 依頼先：0120-026-884 (受付時間/365日 8:00~21:00)

- ・上記以外の表示が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・その他、わからないとき

(つづく)

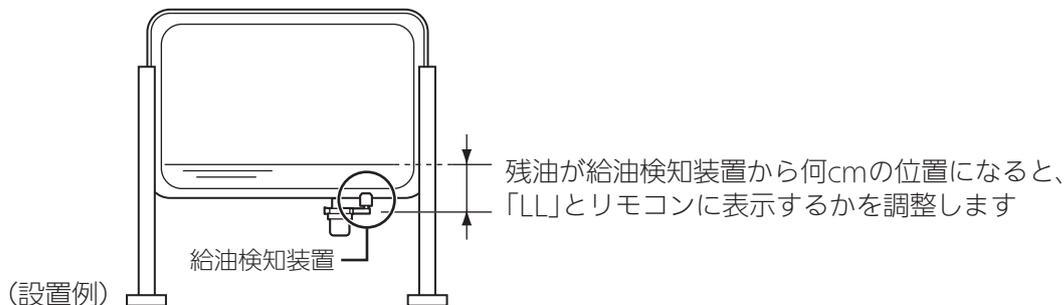
故障・異常かな?と思ったら

リモコンに英数字が点滅しているとき(故障表示)

(つづき)

## 給油検知装置FC-1 (別売品) の調整方法

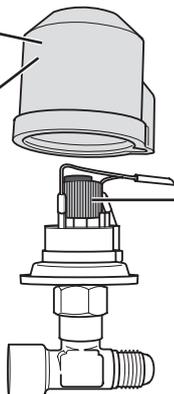
オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になるとリモコンに「LL」表示が出て給油時期をお知らせしますが、残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、以下の手順で給油検知装置の調整をしてください。



①ゴムカバーを外す

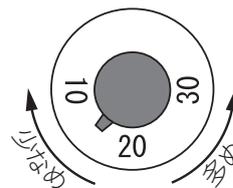
③調整後、ゴムカバーを元通り取り付ける

※給油検知装置は防水型ではありません。  
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などが入って給油検知装置が故障する原因になります。



②調整つまみで調整する

<調整つまみを上から見た図>



初期設定=10

- 【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】  
目盛を「10」側に回す。(残油量が少なめで表示が出ます)
- 【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】  
目盛を「30」側に回す。(残油量が多めで表示が出ます)

※送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法→P7)  
※給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

# 主な仕様

●本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

製 品 名	OX-407FV	OX-H407FV	OX-307FV	OX-407F	OX-408F	OX-307F
型 式 の 呼 び	OX-407FV	OX-H407FV	OX-307FV	OX-407F (OX-407FV)	OX-408F (OX-407FV)	OX-307F (OX-307FV)
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式				
	給排気方式	屋内用半密閉式強制排気形				
	給 水 方 式	水道直結式(減圧弁/逃し弁内蔵形)			水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式	
	加 熱 方 式	貯湯式急速加熱形				
点 火 方 式	高压放電式					
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)					
燃 料 消 費 量	51.4kW(5.0L/h)		43.2kW(4.2L/h)	51.4kW(5.0L/h)		43.2kW(4.2L/h)
連 続 給 湯 効 率	87.5%					
連 続 給 湯 出 力	45.0kW		37.8kW	45.0kW		37.8kW
熱 交 換 器 容 量	13.8L		14.3L	13.8L		14.3L
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa	—	0.1MPa			
最 高 圧 力	—	0.2MPa	—			
外 形 寸 法	高さ880mm 幅280mm 奥行520mm					
質 量	32kg		31kg		30kg	
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz					
定格消費電力	点 火 時	105W/100W		100W/96W	105W/100W	
	燃 焼 時	77W/74W		71W/69W	77W/74W	
	凍結予防ヒーター	84W		68W	32W	68W
待機時消費電力	2.7W					
排 気 温 度	260℃以下					
排気筒の呼び径	106mm					
騒 音 レ ベ ル	49dB(Aレンジ)		47dB(Aレンジ)	49dB(Aレンジ)		47dB(Aレンジ)
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置					
そ の 他 の 装 置	凍結予防ヒーター、温度ヒューズ、空だき安全装置、【OX-H407FVのみ】空だき防止装置					

製 品 名	OX-407FF	OX-307FF
型 式 の 呼 び	OX-407FF	OX-307FF
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形
	給 水 方 式	水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式
	加 熱 方 式	貯湯式急速加熱形
点 火 方 式	高压放電式	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	51.4kW(5.0L/h)	43.2kW(4.2L/h)
連 続 給 湯 効 率	87.5%	
連 続 給 湯 出 力	45.0kW	37.8kW
熱 交 換 器 容 量	13.8L	14.3L
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa	
外 形 寸 法	高さ880mm 幅280mm 奥行520mm	
質 量	31kg	
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	点 火 時	105W/100W
	燃 焼 時	76W/72W
	凍結予防ヒーター	68W
待機時消費電力	2.7W	
排 気 温 度	260℃以下	
給排気筒の型式の呼び	FF-101A	
給排気筒の呼び径	D80	
給排気筒の壁貫通部の孔径	120mm	
騒 音 レ ベ ル	49dB(Aレンジ)	47dB(Aレンジ)
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置	
そ の 他 の 装 置	凍結予防ヒーター、温度ヒューズ、空だき安全装置	

リモコンに英数字が点滅しているときへ故障表示

主な仕様

# 主な仕様(つづき)

製 品 名	OX-407YV	OX-H407YSV	OX-407Y	OX-408YSV	OX-408YS	OX-H408YV
	OX-407YSV		OX-407YS		OX-408YSO-2	
型 式 の 呼 び	OX-407YV	OX-H407YSV	OX-407Y (OX-407YV)	OX-408YSV	OX-408YS (OX-408YSV)	OX-H408YV
	OX-407YSV (OX-407YV)		OX-407YS (OX-407YV)		OX-408YSO (OX-408YSO)	OX-H408YSV (OX-H408YV)
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式				
	給排気方式	屋外用開放形		屋外用開放形/屋外用強制排気形		
	給水方式	※1	※2	※1	※2	※1
	加熱方式	貯湯式急速加熱形				
点 火 方 式	高压放電式					
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)					
燃 料 消 費 量	51.4kW(5.0L/h)					
連 続 給 湯 効 率	87.5%					
連 続 給 湯 出 力	45.0kW					
熱 交 換 器 容 量	13.8L					
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa	—	0.1MPa		—	
最 高 圧 力	—	0.2MPa	—			0.2MPa
外 形 寸 法	高さ900mm 幅590mm 奥行295mm			高さ880mm 幅280mm 奥行520mm		
質 量	38kg	39kg	37kg	32kg	31kg	32kg
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz					
定 格 消 費 電 力	点 火 時	104W/99W		105W/100W		
	燃 焼 時	75W/72W		77W/74W		
	凍結予防ヒーター	84W	52W	32W(OX-408YSO-2,OX-4704YSOは凍結予防ヒーターなし)		
待機時消費電力	2.7W					
排 気 温 度	260℃以下					
排気筒の呼び径	—			106mm(排気アダプターセットHVK使用時)		
騒音レベル	51dB(Aレンジ)					
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置					
そ の 他 の 装 置	凍結予防ヒーター(OX-408YSO-2,OX-4704YSOは凍結予防ヒーターなし)、温度ヒューズ、空だき安全装置 【OX-H407YSV,H408YV,H408YSVのみ】空だき防止装置					

※1：水道直結式(減圧弁/逃し弁内蔵形)※2：水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式

製 品 名	OX-307YV	OX-307YSV	OX-307Y	OX-307YS	OX-308YSV	OX-308YS	OX-308YSO-2	OX-3704YSO
型 式 の 呼 び	OX-307YV	OX-307YSV (OX-307YV)	OX-307Y (OX-307YV)	OX-307YS (OX-307YV)	OX-308YSV	OX-308YS (OX-308YSV)	OX-308YSO	OX-3704YSO (OX-308YSO)
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式						
	給排気方式	屋外用開放形			屋外用開放形/屋外用強制排気形			
	給水方式	※1		※2	※1		※2	
	加熱方式	貯湯式急速加熱形						
点 火 方 式	高压放電式							
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)							
燃 料 消 費 量	43.2kW(4.2L/h)							
連 続 給 湯 効 率	87.5%							
連 続 給 湯 出 力	37.8kW							
熱 交 換 器 容 量	14.3L							
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa							
外 形 寸 法	高さ900mm 幅590mm 奥行295mm				高さ880mm 幅280mm 奥行520mm			
質 量	37kg		36kg		31kg		30kg	
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz							
定 格 消 費 電 力	点 火 時	99W/95W			100W/96W			
	燃 焼 時	69W/67W			71W/69W			
	凍結予防ヒーター	84W		52W	32W(OX-308YSO-2,OX-3704YSOは凍結予防ヒーターなし)			
待機時消費電力	2.7W							
排 気 温 度	260℃以下							
排気筒の呼び径	—				106mm(排気アダプターセットHVK使用時)			
騒音レベル	50dB(Aレンジ)							
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置							
そ の 他 の 装 置	凍結予防ヒーター(OX-308YSO-2,OX-3704YSOは凍結予防ヒーターなし)、温度ヒューズ、空だき安全装置							

※1：水道直結式(減圧弁/逃し弁内蔵形)※2：水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式

## サービスを依頼される時

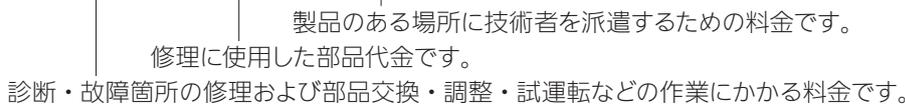
P21～22の「故障・異常かな?と思ったら」、P23「リモコンに英数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

### ● 連絡していただきたい内容

- 製品名……… 機器に貼り付けてある銘板をご覧ください
- お買い上げ日…… 保証書をご覧ください
- 異常の状況…… 故障表示など、できるだけ詳しく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

### ● 修理料金のしくみ

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

## 保証について

この取扱説明書には保証書がついています。  
 必ず販売店・お買い上げ日などが記入されていることを確認してください。  
 保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。  
 なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

## 据え付け

### ● 据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

### ● 騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

### ● 据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

### ● 試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

# 無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名		様	製品名	OX-407YV	OX-307YV	OX-H407YSV
	ご住所				OX-407YSV	OX-307YSV	OX-H407FV
販売店	店名	扱 者 印		OX-407Y	OX-307Y	OX-H408YV	
	住所			OX-407YS	OX-307YS	OX-H408YSV	
	電話番号			OX-407FV	OX-307FV		
					OX-407F	OX-307F	
お買い上げ日		平成	年	月	日		
				OX-407FF	OX-307FF		
				OX-408YSV	OX-308YSV		
				OX-408YS	OX-308YS		
				OX-408YSO-2	OX-308YSO-2		
				OX-408F	OX-3704YSO		
				OX-4704YSO			

## 《保証対象部分・保証期間》

- 保証対象部分：機器本体(リモコン含む)
- 保証期間：お買い上げ日より1年間。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。  
熱交換器…3年間(漏水は5年間)、機器本体内の電装基板…5年間

## 《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
  - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
  - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
  - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
  - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
  - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
  - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
  - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
  - 【OX-Hシリーズ以外の場合】温泉水を給水したことに起因する不具合。  
【OX-Hシリーズの場合】温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
  - 【OX-Hシリーズ以外の場合】井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合。
  - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 **株式会社ノーリツ** 神戸市中央区江戸町 93 番地

### ■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についてのお問い合わせは…

株式会社ノーリツ  
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは… 0570-064-910 (通話料がかかります)

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

### ① 修理の受付・故障に関するお問い合わせ

#### ■修理受付センター

365日24時間 修理受付  
※修理訪問は日中、地域により休日有り  
FAX 078-928-4831

### ② 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ

#### ■点検センター

【受付時間】※土日祝日、夏期休暇、年末年始を除く  
〈平日〉9:00~17:30

### ③ 商品に関するお問い合わせ・その他

#### ■お客さま相談センター

【受付時間】※年末年始を除く  
〈平日〉9:00~18:00  
〈土曜・日曜・祝日〉9:00~17:00  
FAX 078-921-5656

リモコンの表示画面に「88」または「888」が点滅する場合は

専用窓口 0120-026-884 (365日 8:00~21:00)

### 個人情報の取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合(3)法令等にもとづく場合 ■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当(TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00~17:00)にご連絡願います。